

# 四日市JC 募金型自販機が50台突破

## 希望荘に1台設置

青少年育成の「サルビア基金」に寄付

四日市青年会議所(JC)は、同JCが管理する「サルビア基金」に寄付することが出来る募金型自動販売機の設置を拡大している。3月に入り、湯の山温泉旅館の希望荘(三重県菟田野町千草7094)へ1台設置した。設置活動を始めた2022年以來、累計設置台数が50台を突破した。

(四日市・榎田宏行)



希望荘の藤川料飲部部長(右)と四日市JCの担当者

サルビア基金は地域の青少年育成を目的に四日市JCが1981年に設立。名称は、四日市市の花・サルビアが由来となっている。集めた寄付金は、地域の子どもの対象にしたイベント開催などで活用。昨年はティボールの開催費用に充てた。

希望荘では、宿泊者や日帰り客が利用する3階ロビーの休憩スペースに設置した。

## ロータリークラブライオンズクラブ 青年会議所

1スに設置した。50台目の自販機は「希望荘」の文字と、森林の絵をデザインし、キャッシュレス決済にも対応した。飲料のほか、子ども用紙おむつや生理用品も販売している。売り上げの1%分がサルビア基金に寄付される。

希望荘の藤川仁司料飲部部長は「飲み物や生活用品を購入できる自販機を置くことができ、お客さま満足度を高めることができると考えている。ぜひ多くの方々に利用していただきたい」と話した。また、四日市JCの地域活動委員会委員長の九鬼和夫は「引き続き、募金型自販機の設置活動を続けていきたい」と話していた。



「コール・カメリア」メンバー8人参加した

## 福祉施設でコンサート

名古屋西高合唱部とジョイント

名古屋名駅ロータリークラブ(RC、岡角國男会長)のメンバーで構成するコーラスグループ「コール・カメリア」は、名古屋西区の高齢者福祉施設「なごやかハウス名西」で、名古屋西高合唱部とのジョイントコンサートを開催した。施設の入所者やデイサービスを利用するお年寄りたちを楽しませた。ジョイントコンサートは、同RC創立20周年記念事業のコンサートで同校合唱部と共演したのをきっかけに、2012年から開催している。コロナ禍の影響で

中断していたが、今回4年ぶりに開くことができた。まずは、名古屋西高合唱部が「上を向いて歩こう」や「いい日旅立ち」を披露。続いてコール・カメリアのメンバー8人が登場し、「青い山脈」や「あの鐘を鳴らすのはあなた」を合唱した。後に合同で合唱し、四季をテーマにしたメドレーなどを歌った。コール・カメリアの小室健次郎さんは「真剣に聴いていただいていたうれしかった」と話していた。

## 名古屋名駅RC



名古屋西高合唱部と合同で合唱

## 八事山興正寺の歴史と文化を学ぶ

名古屋昭和RC、会員ら32人が参加

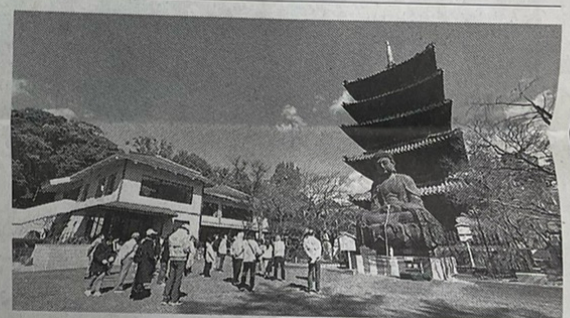
名古屋昭和ロータリークラブ(RC、須原茂樹会長)は、名古屋市内昭和区八事本町の「八事山興正寺」の歴史と文化を学ぶ会を開催した。名古屋昭和RC、桜花学園高校インターアクトクラブの会員ら32人が参加した。

今回の催事は名古屋市後援事業。名古屋昭和RCが昭和区役所に案内ガイド「ぶらり昭和区MAP・八事興正寺」を寄贈する事業の一環で企画した。

参加者は興正寺で歴史と仏教についての講話に熱心に耳を傾けた後、境内を散策。境内と周辺の清掃奉仕活動も行った。

名古屋昭和RCの会員は毎年、区民とともに、区内各所を訪れ、地域文化を学び、体験する活動を行っている。

今回も参加者からは「身近な興正寺の歴史を文化への興味を深めた」「境内が思うより広く自然豊かな別世界で驚いた」と感動や喜びの声を寄せられた。今後も昭和区の歴史・文化への理解を深める活動に力を入れる考えだ。



境内を散策する会員ら

## NEWS&TOPICS

- ROTARY CLUB
- LIONS CLUB
- JUNIOR CHAMBER
- KIWANIS CLUB

【毎週水・金曜日に掲載】

出展対象

インテリア・内装関連

省エネ・創エネ・省エネ関連建材・設備